

平成 27 年度 予算 の 編 成

第 1 編成に当たっての考え方

1 区財政を取り巻く状況～引き続き厳しい財政運営を予測～

我が国の経済情勢は、政府の経済対策により景気は緩やかな回復基調にあるとされている。しかし、昨年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減等により個人消費や生産に弱さが見られる。加えて、不安定な海外情勢等、下振れリスクもあることから、景気の先行きは予断を許さない。

区の平成 25 年度普通会計決算における経常収支比率は 86.2%であり、前年度に比べて 3.6 ポイント改善したものの、依然として適正水準を越えている。今後も、少子高齢化の進展により、社会保障関係経費の増加は不可避である。一方、区の基幹的歳入である特別区財政調整交付金は、その原資である法人住民税の一部国税化等により平成 27 年度以降大きな影響を受けることは避けられない。したがって、引き続き厳しい財政運営を強いられると予測される。

2 区政運営の新しいビジョンの実現に向けて重点化

区は昨年 12 月、今後の区政運営の羅針盤となる「(仮称)区政運営の新しいビジョン」(以下「ビジョン」という)の素案を公表した。ビジョンでは、主要な施策の方向性を示したうえで、平成 27 年度からの 5 か年に取り組む基軸プロジェクトとして 18 の戦略計画を掲げている。本年 3 月に策定する本ビジョンの実現に向けた取組が、平成 27 年度からスタートする。

そこで、平成 27 年度当初予算編成にあたっては、引き続き厳しい財政運営が見込まれる中、ビジョンに掲げる戦略計画の推進を最優先とすることとした。初年度に早速着手すべき課題はすべて予算化した。また、中長期的な視点をもって取り組む課題は具体化に向けて検討を進化させることができるよう、事業手法等を含め精査のうえ予算化した。さらに、子ども・子育て支援新制度や介護保険制度の改正なども踏まえた国・都の財源の活用、社会資本形成に資する事業における起債の活用など、財源の確保と後年度負担に十分留意しつつ、区の実情に即した事業展開が図れるよう工夫した。

一方、持続可能な財政運営を堅持する観点から、枠配分予算における 1%のマイナスシーリングを実施し、改めて事業の必要性や財政的効果の把握に留意するなど、事業の精査を行った。

第2 ビジョンに掲げた施策の柱と戦略計画に基づく新規・充実予算

ビジョンでは、下記の5つの施策の柱のもとに18の戦略計画を位置付けている。

子どもの成長と子育ての総合的な支援

安心して生活できる福祉・医療の充実

安全・快適な都市の実現に向けた基盤整備

練馬区の魅力を楽しめるまちづくり

新たな区政の創造

各柱における戦略計画を中心とした新規・充実事業は以下のとおり。

(新規事業は 印、充実事業は 印)

子どもの成長と子育ての総合的な支援(新規・充実予算 約3,732百万円)

在宅子育て家庭へのきめ細かい支援を行う新規事業や、幼稚園の預かり保育を拡大する「練馬こども園」の創設、保育所の誘致など、多様な教育・保育ニーズに応える環境を整える。

【計画1】家庭での子育てを応援

| | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 「仮称すくすくアドバイザー」の配置 | [初年度は再任用職員を活用] |
| 妊娠・出産の情報提供と支援の充実(予防接種サポートシステムの導入) | [3百万円] |
| 子ども家庭支援センター仮称光が丘分室の開設に伴う準備 | [45百万円] |
| 「子育てのひろば」の充実(開設時間の拡大) | } [22百万円] |
| 「乳幼児一時預かり」の充実(開設日数・定員の拡大) | |
| 「おひさまぴよぴよ(外遊びぴよぴよ)」の開始 | [2百万円] |
| 「ファミサポホーム」の開設(4か所) | [1百万円] |

<関連する事業>

| | |
|---------------------|----------|
| B C G 予防接種の個別接種化の開始 | [47百万円] |
|---------------------|----------|

【計画2】「練馬こども園」の創設

| | |
|-----------------------------------|----------|
| 「練馬こども園」の創設(私立幼稚園における長時間預かり保育の拡大) | [97百万円] |
|-----------------------------------|----------|

<関連する事業>

| | |
|---|-----------|
| 保育所等の拡充 (認可保育所新設4園・地域型保育事業新設4か所・区立保育所改築設計) | [510百万円] |
| 多様な保育サービスの充実(病児・病後児保育施設新設1か所) | [20百万円] |
| 小規模保育事業の充実(5か所、定員89名予定) | [143百万円] |
| 居宅訪問型保育事業の開始(定員10名予定) | [75百万円] |
| 事業所内保育事業の開設(2か所、定員37名予定) | [50百万円] |

| | |
|--|---------|
| 【計画3】すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり 「仮称ねりっこクラブ」の開設準備（準備委託3校） | 〔22百万円〕 |
| 夏休み居場所づくり事業の充実（新規2校） | 〔6百万円〕 |

<関連する事業>

| | |
|--------------------|--------|
| 中高生居場所づくり事業の充実（2館） | 〔2百万円〕 |
|--------------------|--------|

【計画4】子どもたち一人ひとりに質の高い教育を

| | |
|--|------------|
| 小中一貫教育の推進 | 〔10百万円〕 |
| 小中学校校舎等の改築の推進（設計3校・工事3校・設計工事1校） | 〔2,278百万円〕 |
| 学校施設等総合管理計画の策定（29年度策定に向けた着手） | 〔10百万円〕 |
| 区立学校の適正配置の推進 | 〔1百万円〕 |
| ICT環境の整備の推進 | 〔278百万円〕 |
| 学校教育支援センター「仮称大泉分室」の整備（実施設計） | 〔15百万円〕 |
| 支援が必要な子どもへのサポート体制の充実 （スクールソーシャルワーカーの配置4名） | 〔15百万円〕 |
| 生活支援・学習支援の実施 | 〔22百万円〕 |

<関連する事業>

| | |
|--|---------|
| 学校安全対策の充実 （防犯指導員の2名増員、小学校通学路防犯カメラの増設） | 〔58百万円〕 |
|--|---------|

安心して生活できる福祉・医療の充実（新規・充実予算 約740百万円）

高齢者や障害者などだれもが安心して地域で生活できるようにするため、関係機関との連携や社会資源の活用を進めながら、人材の配置・育成、施設整備、在宅生活を支えるサービスを組み合わせることで利用できる区独自の新たな生活支援事業の提供など、一人ひとりに応じた支援を行う。

【計画5】高齢者地域包括ケアシステムの確立

| | |
|--|---------|
| 医療・介護連携推進員の配置（4名） | 〔26百万円〕 |
| 高齢者等在宅療養推進事業の実施 | 〔20百万円〕 |
| 主体的に取り組む「介護予防事業」の推進（教室数・定員の拡大） | 〔75百万円〕 |
| 「街かどケアカフェ」整備工事（1か所） | 〔30百万円〕 |
| 地域生活を支援する拠点（地域密着型サービス）等の整備充実 （区内初の「複合型サービス」整備（1施設）） | 〔85百万円〕 |
| 「在宅生活支援事業」の開始 （組み合わせサービス、自立支援住宅改修給付の対象種目拡大） | 〔74百万円〕 |
| 高齢者支え合いサポーター育成事業の開始（100名予定） | 〔4百万円〕 |
| 生活支援コーディネーターの配置（1名） | 〔9百万円〕 |

<関連する事業>

| | |
|---|----------|
| 介護保険施設等の整備充実 （高齢者福祉施設建設のための地権者向け「土地活用セミナー」の実施） | 〔253百万円〕 |
| 高齢者センターの整備 | 〔27百万円〕 |

【計画6】障害者の地域生活を支援

障害者ケアマネジメントの充実 [33百万円]

(地域生活支援センターの強化、 地域精神保健相談員の配置2名)

重症心身障害児(者)在宅レスパイト事業の開始 [11百万円]

障害者の就労促進の充実 [9百万円]

(障害者就労促進協会の体制強化、福祉的就労を推進する
「共同受注窓口」の新規設置)

障害者グループホーム整備の充実(2施設) [11百万円]

<関連する事業>

心身障害者福祉手当の拡充(支給対象となる難病を110疾病へ拡充) [29百万円]

【計画7】病床の確保と在宅療養ネットワークの構築

練馬光が丘病院改築に向けた基本構想の策定 [15百万円]

区西部地域新病院整備事業の推進 [1百万円]

<関連する事業>

休日・夜間診療委託の拡充(開業時間の2時間延長) [6百万円]

【計画8】つながり、見守る地域づくり

「地域の見守り拠点」の開設 [9百万円]

災害時要援護者向け福祉避難所の新規指定(2か所) [1百万円]

福祉避難所への無線機配備(43か所) [12百万円]

安全・快適な都市の実現に向けた基盤整備(新規・充実予算 約7,139百万円)

地下鉄大江戸線の延伸や外環の2の整備、西武新宿線の立体化、建築物の安全対策、都市型水害対策など、練馬区の都市基盤上の課題の解決にむけて、国や都と連携しながら事業を促進する。

【計画9】鉄道、道路などインフラの整備

大江戸線延伸の促進 [515百万円]

大江戸線延伸地域のまちづくりの推進 [11百万円]

外環道および外環の2沿道地区のまちづくり [5百万円]

放射7号線沿道地区のまちづくり [4百万円]

放射35号線沿道地区および放射36号線沿道地区のまちづくり [10百万円]

都市計画道路の整備(区施行) [639百万円]

西武新宿線の立体化 [4百万円]

<関連する事業>

生活幹線道路の整備 [491百万円]

西武池袋線(練馬高野台駅~大泉学園駅間)連続立体交差事業および

鉄道附属街路整備事業

公共交通空白地域改善の推進 [4百万円]

自転車駐車場の整備 [411百万円]

【計画10】災害に強い安全なまちづくり

| | |
|--|------------|
| 建築物の耐震化 | 〔1,027百万円〕 |
| 無電柱化の推進 | 〔5百万円〕 |
| 密集住宅市街地整備促進事業の推進 | 〔1,617百万円〕 |
| 雨水貯留浸透施設の増設等水害対策の強化 | 〔11百万円〕 |
| ねりま防災カレッジ事業の充実 | 〔20百万円〕 |
| 災害時情報伝達手段の充実 | 〔495百万円〕 |
| （ 災害時臨時放送局開設用機材の購入、 地震情報配信システム導入、 災害時映像通信システム導入、防災行政無線のデジタル化等 ） | |
| 備蓄物資の充実および倉庫整備（倉庫2か所新設） | 〔102百万円〕 |

<関連する事業>

| | |
|------------------------------------|------------|
| 建築総合情報システムの構築 | 〔101百万円〕 |
| 空き家等対策の推進 | 〔33百万円〕 |
| 都市インフラの計画的更新 | 〔1,186百万円〕 |
| 地域防犯防火連携組織の充実 | 〔1百万円〕 |
| 区内における防犯カメラの設置促進 | 〔70百万円〕 |
| （防犯設備補助事業による設置等40台、小学校通学路への設置130台） | |

【計画11】地域生活を支える駅周辺のまちづくり

| | |
|------------------|---------|
| 石神井公園駅周辺地区のまちづくり | 〔5百万円〕 |
| 上石神井駅周辺地区のまちづくり | 〔10百万円〕 |
| その他の駅周辺地区のまちづくり | 〔17百万円〕 |

【計画12】住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ

| | |
|----------------------------|--------|
| 仮称練馬区エネルギービジョンの策定と具体的取組の推進 | 〔4百万円〕 |
|----------------------------|--------|

<関連する事業>

| | |
|--------------|---------|
| リサイクルセンターの整備 | 〔29百万円〕 |
|--------------|---------|

練馬区の魅力を楽しめるまちづくり（新規・充実予算 約1,687百万円）

農地やみどりの豊かさ、特色ある商店など、練馬区の魅力をさらに高めるための取組を推進する。

【計画13】地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり

| | |
|---------------------------|---------|
| 練馬ビジネスサポートセンターの機能強化 | 〔34百万円〕 |
| 産業見本市の開催 | 〔4百万円〕 |
| 企業間活性化支援 | 〔3百万円〕 |
| 練馬アニメーション（人材育成事業等）への支援の充実 | 〔6百万円〕 |
| アニメコンペティションの実施計画策定 | 〔1百万円〕 |
| お客が集まる個店づくりの支援 | 〔2百万円〕 |
| 特色ある取組を行う商店街への支援 | 〔2百万円〕 |

【計画14】農の生きるまち練馬

| | |
|------------------|---------|
| 練馬果樹あるファームの調査・検討 | 〔5百万円〕 |
| 練馬区農の学校の開設 | 〔19百万円〕 |
| ねりマルシェの開催 | 〔1百万円〕 |
| 伝統野菜を活用した食育の推進 | 〔4百万円〕 |
| 認定農業者等の取組支援 | 〔14百万円〕 |

【計画15】みどりあふれるまちづくり

| | |
|--------------------|----------|
| 特色ある公園の整備 | 〔735百万円〕 |
| 民有樹林地の保全（樹林地調査） | 〔17百万円〕 |
| みどりの美しい街並みづくり | 〔27百万円〕 |
| 子どもたちが楽しめる体験型事業の拡大 | 〔36百万円〕 |

【計画16】風を感じながら巡るみどりのまち

| | |
|------------------------------------|----------|
| 「まち歩き」「ポタリング」を通して練馬の魅力を体感（コース等の検討） | 〔10百万円〕 |
| 「練馬まつり」の充実 | 〔106百万円〕 |
| シェアサイクル導入に向けた取組の実施 | 〔6百万円〕 |

< 関連する事業 >

| | |
|--|----------|
| 大泉さくら運動公園多目的運動場の人工芝化 | 〔274百万円〕 |
| 関越自動車道高架下の活用 （スポーツ施設、地域倉庫、地域交流スペース） | 〔374百万円〕 |

【計画17】練馬城址公園をにぎわいの拠点に

| | |
|-----------|--------|
| 練馬城址公園の検討 | 〔7百万円〕 |
|-----------|--------|

新たな区政の創造（新規・充実予算 約1百万円）

区政改革の取組を具体化するため、仮称区政改革計画の策定に向けた検討を進める。

【計画18】新しい成熟都市に向けた区政の創造

| | |
|-------------|--------|
| 仮称区政改革計画の策定 | 〔1百万円〕 |
|-------------|--------|

戦略計画に基づく新規・充実予算額（施策の柱別）

（単位：百万円）

| 柱 名 | 金 額 |
|---------------------|--------|
| 子どもの成長と子育ての総合的な支援 | 3,732 |
| 安心して生活できる福祉・医療の充実 | 740 |
| 安全・快適な都市の実現に向けた基盤整備 | 7,139 |
| 練馬区の魅力を楽しめるまちづくり | 1,687 |
| 新たな区政の創造 | 1 |
| 合 計 | 13,299 |

第3 今後の財政運営の考え方

ビジョン「構想編」では、これからの社会は「新しい成熟社会」であり、従来のような成長の延長線上にある“豊かさ”とは異なる局面をもつと捉えている。そうした社会経済状況を前提に、リアルな区民ニーズに応えるため、財政運営についても将来を見通しつつ知恵と工夫を凝らし、新たな発想のもとに進めていく必要がある。特に、少子高齢化への対応などソフト事業の充実に注力していく。

1 社会保障経費の増大

社会保障関係経費については、生活保護費は高止まりの状況が続いている。保育所待機児童の解消に向けた認可保育所等の整備に伴う私立保育所運営経費、高齢化の進行に伴う介護保険給付費、障害者自立支援給付費など、今後も確実に増加していく。

2 施設の改修・改築経費等の増大

高度経済成長期に建設した区立施設や学校の老朽化が進み、改築経費が一段と増加していく。さらに、昭和60年前後に建設した練馬文化センターや美術館、生涯学習センターなど大規模施設が改修時期を迎え、改修に多額の経費を要することが見込まれる。今後は大型の施設建設を抑制し、需要を見通しながら既存の施設を有効活用してリニューアルをしていくことが求められる。

3 起債の活用

都市基盤上の課題の解決に向けた道路や公園の整備など、都市生活に必要なインフラの整備は着実に進めていく必要がある。これらの社会資本整備にあたっては、国や都の交付金の活用とともに、金利の動向などを踏まえて、後年度負担に留意しつつ起債を活用する。

4 基金の積立

リーマンショックのような事態により経済状況が激変しても、区民サービスを安定的に提供できる持続可能な財政基盤を確立することが求められる。また、社会状況の変化によって生じる新たな行政需要にも機動的に対応する必要がある。区政改革を進めて財政効果を生み出し、計画的に基金を積み立て、活用する。

5 区政改革の取組の具体化

平成27年度に行う区政改革の取組の具体化においては、将来に備えた歳出のさらなる見直しと財源確保等について検討する。予算編成過程で各事業の現状と課題をよりクリアに分析し、事業の必要性、取組の手法等について明確化したうえで、区民にとって一層わかりやすい予算とするなど、財政運営の改革を進める。